

Sophia
Lyama

FESTIVAL

76

目 次

学長あいさつ	1
学生部長あいさつ	2
委員長あいさつ	2
ドイツ語劇	3
スペイン語劇	6
フランス語劇	9
ロシア語劇	12
各劇団沿革	15
編集後記	16

日 程

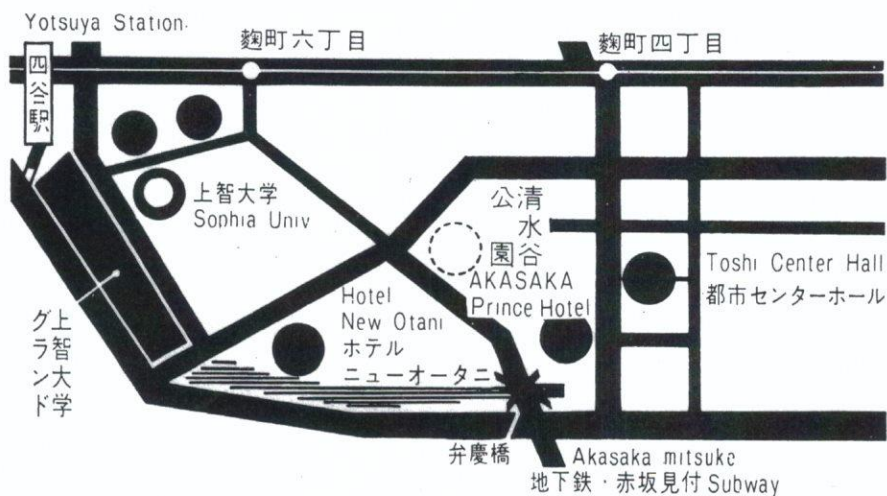
11月19, 20, 21日	(金・土・日)	ドイツ語
26, 27日	(金・土)	スペイン語
12月 3, 4, 5日	(金・土・日)	フランス語
10, 11日	(金・土)	ロシア語

	(金)	(土)	(日) ※ドイツ語, フランス語のみ
開 場	5 : 30	3 : 00	1 : 30
開 演	6 : 00	3 : 30	2 : 00

会 場

上 智 大 学 講 堂

上智大学案内図 (Guide to Sophia Univ.)



President's Greetings

(学長あいさつ)

J. Pittau



Greetings of the President

From all sides every hour of the day we are constantly reminded that we live in an age of instant communications. The wonders of technology take us to far corners of the world and to metropolitan centers where we are actual witnesses of events taking place. Yet despite such electronic wonders mankind still witnesses a strange failure in communications and a lack of understanding of one another. Communications through the written word and radio and television use secondary channels of communication. To a large extent they leave the recipient a passive observer and do not provide the impact or the immediate experience of personal witness or observation.

Drama is an artistic field which offers a dimension of shared human experience unequalled by any of the mass media. From the viewers standpoint there is an immediacy and an engagement with personalities seldom possible through the limited dimensions of radio or of movies. For the performers there is the opportunity of sharing feelings and emotions directly with people and not merely with klieg lights and cameramen.

The Play Festival offers a remarkable opportunity for students to broaden their abilities in effective communication by presenting not merely an event or a certain amount of information, but a full personality. Even more remarkable is the opportunity to do this through another's role, through the character one portrays on the stage. The richness and growth and profit of this experience is shared both by performers and audience.

Congratulations to all of those, both on the stage and behind it, who have again used the Play Festival as a means of developing their own personalities and potential. In a world of growing technological wonders we come to realize more and more the absolute necessity of developing the human component, the warm and immediate and understanding interaction of person with person.

語劇祭上演に寄せて

学長 ヨセフ・ピタウ

現在が即時的コミュニケーションの時代であるということを私達は一時として忘れることができません。技術の驚異は私達を世界のすみずみ、あるいはまた大都市の中心に導き、実際にそこで起っていることを見せてくれます。しかし、このようなエレクトロニクスの驚異にもかかわらず、人びとは、何かコミュニケーションの不定、そしてまたお互いの理解の不足を感じています。活字、ラジオ、テレビなどは第二義的なコミュニケーションの手段であり、これらのものは読者や聴取者を受身の立場におき、自ら直接経験し、自分の目で見るといふ感動を与えてくれないのです。

劇は、人間に共通する経験という次元を与えてくれる芸術の一分野であり、いかなるマスメディアもこれに匹敵し得ません。観客の側からすれば劇には、ラジオや映画などの限られた時元では殆ど不可能な直接性や登場人物との調和があります。役者にとっても、ただ照明とカメラに向かうのと違い、直接観客と感動や情を分かちあうことができる機会なのです。

語劇祭は効果的なコミュニケーションの分野で、学生の能力をのばすためのすばらしい機会を与えてくれます。それはただ単にある出来事や情報を表現するのではなく、全人格を投入して初めて可能となるのです。さらに注目すべきことは、これを他の人物、即ち舞台上で表現する人物の役を通して行なえるということです。この経験によって得られる満足、進歩、その他の益となるものは、演技する者と観る者の両者にもたらされます。

この語劇祭を、自己の人格と可能性をのばす機会とされた人 — 舞台上で演じた人もまたその陰で働いた人も — すべてにお祝いの言葉を述べたいと思います。技術の驚異が常に進歩している世界において、私達は人間の本質 — 温かく、直接的で、そして協調性のある人と人との関係というものが絶対に必要であるということ — をさらに強く感じているのです。

学生部長あいさつ

木村直司

毎年の語劇祭のプログラムの終りに掲載されている「各劇団沿革」のとりわけドイツ語劇の部分を見てみると、いろいろな思い出が浮んでくる。なぜなら、母校の教壇に立つようになった1963年くらい、私は毎年欠かさずドイツ語劇を見てきたからである。オリジナルの戯曲のよしあし、主要な配役のドイツ語の発音や演技の巧拙によって、観劇の印象は確かに毎年異なっていた。しかし、全体としては常にすばらしく、ドイツ語を習いはじめて数年のうちに、よくあのようにできるものだと思心していたものである。

ところが、昨年4月に学生部長に就任し、学生の課外活動を担当するようになったのを機会に、語劇祭の全プログラム、すなわちフランス語、ロシア語の語劇上演をすべて見ることにした。そして、本学の長い伝統である外国語劇の実力にいまさらながら驚嘆した。フランス語劇は少人数というハンディキャップをよく克服してがんばったし、ドイツ語劇は舞台装置の不利な条件のなかで、現代ドイツの「不条理劇」の本邦初演という放れ業をやったのけた。そしてロシア語劇は外国語劇であることを忘れさせるような見事な演出を見せてくれた。

このような感想を持ちながら、私は思った、これこそ真の課外活動である。このような課外活動こそ真に意義があると。それは単なる外国語の学習ということを超えた、戯曲作品の生きた文学的体験である。ほんらいのドイツ文学研究者としても、私は語劇祭を今後もぜひ大事にしてもらいたいと思っている。

委員長あいさつ

谷口吉光

新聞に「英語の歌舞伎」という記事がでていた。米国の大学で歌舞伎を英語でやっているのを見たところ、奇妙に感じられて仕方がなかったというのである。

考えてみれば語劇祭はこの奇妙さを乗り越えようとする試みであるといえる。ところが実際には語劇の方が奇妙に見られ、いわば日本語版「英語の歌舞伎」の方があたり前と思われているのが現状のようである。

確かに語劇は演劇らしくない点が多い。たとえば、演技に先立っての発音練習がある。発音の悪さを演技でカバーするわけにもいかないから、練習の相当部分がそれに費される。すると、何となく語学勉強の余技のように受けとられるというわけだ。加えて、いくらいい発音をしていても言っていることがわからなきゃなんにもならないじゃないかという単純な疑問もあるわけで、こうした限界を破るべく各劇団とも、たとえば字幕作戦やパンフレット作戦でがんばっているのである。

ともかく、語劇祭は今年で17回を迎え、しかも特別に先細りしていくこともなく、毎年精力的な人材と熱心な観客とを生み出し続けたという事実を見る限り、語劇祭という試みにも、やはり何か真実があると認めてもよいと思うのだがどうだろうか。

最後に、軟弱未熟な本年度委員長以下、経験不足なメンバーを御指導して下さった学生課の方々及び諸先輩のみなさんに感謝いたします。

"Don Juan oder Die Liebe zur Geometrie"

〔ドン・ジュアンまたは幾何学への愛〕

★キャスト

ドン・ジュアン	島田洋一郎
テノーリオ (ドン・ジュアンの父)	高垣隆一
ミランダ (娼婦)	加藤あさ美
ドン・ゴンザーロ (セヴィリャ騎士隊長)	柿沼徹
ドンナ・エルヴィラ (ゴンザーロの妻)	山寺桂子
ドンナ・アンナ (ゴンザーロの娘)	杉山晶子
ドン・ロデリーゴ (ドン・ジュアンの友達)	小谷暢
ドンナ・イネス (ロデリーゴの許嫁)	佐藤浩子
セレスティーナ (娼家のおかみ)	谷口真矢子
ドン・バルタザール・ロペス	関川誠
レボレロ (ドン・ジュアンの従僕)	原寿宏
ディエゴ神父	明石政紀
ドンナ・ベリーサ (ロペスの妻)	杉野千鶴
従弟	新井一郎

★スタッフ

演	出	依田正文	明石政紀		
照	明	小谷暢	飛弾典子	本間恵理子	
舞	美術	森和貴	鈴木猛	金正則	内藤次郎
台	裳	水島久美子	杉野千鶴	田ヶ原麻美	
衣		石井真樹子	日下部紀子	仁藤理恵子	
		南部真理子	扇谷礼子	山寺桂子	
メ	イ	高田泰史	明石政紀	原寿宏	中村一美
音	効	新福尚子	石積洋子		
プ	ロンプター	ハインツ・バルケンホール教授			
発	音指	大平由美子			
会	計	依田正文			
舞	台監	小谷暢			
制	督作				

【解 説】

スペインの民間伝説を素材とした「ドン・ホアン」劇が1630年に世に出て以来、ドン・ホアンは戯曲、散文、詩、そして音楽にと様々な形でとり上げられ、母国スペインからイタリア、フランス、イギリス、ドイツ、ロシア、アメリカへと世界中に伝えられている。

ある時は単なる肉体的快楽の飽くことなき追求者、ある時は官能の欲望の力を与えられた誘惑者、そしてある時は理知的な無神論者など、様々なイメージが「ドン・ホアン」という名前に付与されてきた。日本にも、日本独自のドン・ホアンのイメージがあると言ってよく、光源氏、在原業平、世之助などと比較され、一般に女たらし、漁色家、好色漢などに見なされているようである。

ドン・ホアンに如何なるイメージが付与されようとも、ドン・ホアンを「ドン・ホアン」たらしめている「誘惑者」、つまり女性に対して積極的に働きかける者、としての性格が欠如しているドン・ホアンなどは在り得ない。つまり、それは必要不可欠の要素なのである。今までに書かれたドン・ホアンは全てこの一定不変の性格を内在していた。換言すれば、最初から最後まで誘惑者としてのドン・ホアンであったわけである。

ところで、マックス・フリッシュがここに描き出したドン・ホアンは、この一定の性格がまだ与えられていない、いわば自己の成長段階において、苦悩しながら次第にドン・ホアンとして目覚めていく一人の青年の人生遍歴を綴っている。

すでに第一幕の冒頭で我々は、ここに登場する青年の挙動が全く「ドン・ホアン」に相応しいも

のでない、ということに気付くであろう。勇猛果敢な征服者、冒険家としての大胆さ、潑刺さ、明るく悦びに満ちた高笑い、そしてあの独自の勝ち誇った傲慢さの一片たりともこの青年には見うけられないのである。20才にもなって女には興味がないし、おまけに、それを心配した心優しき父親がわざわざ彼を女郎屋に連れて行ってやっても女には手も触れず、何と娼婦を相手にチェスに夢中になっているという存り様なのである。

実はこの青年、女性なんかよりも幾何学を熱愛するインテリだったのである。明白な秩序体系、一寸も違わない正確さ、それ自体で完全なる統一、そして不変の真理である幾何学模様で没頭している時の彼は、恰も母親の懐に顔を埋めている幼子の姿の如く、幸福感と安心感に満たされているのである。彼の心の奥底には、明晰、完全を求める死物狂いの願望が激しく鳴りひびいていて、まさにその為、幾何学とは対照的に、偶然性と、理性では容易に把握することが不可能な感情によって支配されている恋愛の中に一度足を踏み入れてしまうと、名状しがたい恐怖感に襲われるのである。恋に陥れば陥るほど、恋愛に対する彼の不信、嫌悪は衝動となって募り、逆に増々幾何学に逃げて道を求めてゆくのである。彼の中に住む「明」と「暗」、つまり幾何学に対する憧憬と恋愛に対する不信感、自らの力で獲得出来るものと自分の意志では何ともしがたい、外界から自分を押し寄せてくるもの、この二面の相剋に苦悩している姿が、痛々しく我々に伝わってくる。

しかし、いくら頑なに恋愛の偶然性を拒否しようと努めてみても、この強靱な力（彼にとっては暴力であろう）には抵抗し難く、次第にその威力に押し流されてゆくのである。根は幾何学に魅せられた純真無垢な知的青年ではあるが、不幸にも彼が外に表わす行動は、周囲の目から見ると、いかにも「誘惑者ドン・ホアン」に相応しいものとして受けとられてしまうのであり、明らかに彼は

周囲の目に見えない力（彼にとってそれは暴力以外の何ものでもない）によって「ドン・ホアン」という役を演ずるように強いられているようである。その結果として、第三幕後半で彼は周囲の人々を次々と死に至らせてしまう、全て偶然ではあるが、彼を一途に慕う可憐な婚約者アンナ、その父親でありドン・ホアンの上官でもある騎士隊長ゴンザロ、自らの友達であるロデリゴ、そして遂には父親のテノリオまでも。この時点で、絶望のどん底においてようやく彼は悟るのである。現実の力は避けられないものであり、現実をありのままに直視する他はないと。

三幕の最後で覚醒したドン・ホアンは、四幕ではあれから13年経て、33歳の紳士として登場する。ここでは、伝説のドン・ホアンにかなり類似した行動をとっている。ようやく彼は「ドン・ホアン」らしく成長したのである。その名に恥じぬように神は冒瀆、道理は踏みにじり、正義は嘲弄、女はだまして、乱行狼籍の限りをつくしてきたのである。

しかし、一度幾何学の魅力に憑かれた彼にとって、これらの悪業は刹那の快感を与え、束の間ではあるが、恋愛に対する不信を忘れさせてくれたかもしれないが、幾何学のように根底から彼の魂に安堵をもたらしてくれるものではなかった。そこで彼は、余世を修道院の一室で、人知れず、静かに幾何学に専念しようと計画し、「地獄落ち」を自ら演出するのである。この時彼には他方において、ロンダ城の女主人、かつて娼婦の身でありながらドン・ホアンを心から愛していたミランダから、結婚を条件に救いの申し出が執ようになされていたのである。あらゆる点からして、ミランダの優しき申し出に応ずる方が得策なのであるが、ドン・ホアンにとって「結婚」とは、まさに「地獄」を意味するものであるから、彼はこの申し出を拒否し、「地獄落ち」を遂行するのである。しかし、ドン・ホアンに対する復讐心に燃えるロベ

BÜCHER

Belletristik
Sachliteratur
Taschenbücher
Kinder- und Jugendbücher

☆☆☆☆☆☆☆☆
E. メクレンブルグ商会

東京都千代田区有楽町 1-4-1 三信ビル 地階
電話 東京 (03) 591-8666・9095 (郵便番号 100)
(日比谷朝日生命館から隣りの三信ビルに移りました)

ドイツ書の店

現代文学 * こどもの本
時事新刊 * レコード

Mecklenburg

TURAUUCHO TOKYO
TEL. 591-8666



ス（彼はドン・ホアンに妻を寝取られた）の妨害によって、「地獄落ち」の伝説をつくることに成功したが、修道院に隠遁することには失敗してしまう。

五幕になると、ドン・ホアンはロンダ城の主人として登場するのである。「地獄落ち」が完全には成功しなかったために、ミランダの申し出を受け入れざるを得なかったのである。自分の意志に反して、そう、全く偶然に。結婚してしまったドン・ホアン。我々は、一体これをどう受けとめたらよいのだろうか。四幕で彼自身が語っているように、「結婚」という地獄に陥ってしまったのであろうか。

否、彼は語る — 「ミランダがそばにいないと寂しい」「男というものが一人だけでは完全ではないとは、何と恐いことだろうか」。つまり彼にとってミランダは、今や必然的存在となっているのである。最終場面においてミランダがドン・ホアンに二人の間に子供が誕生することを告げる。子持ちのドン・ホアン！ この瞬間において、彼の「ドン・ホアン」としての存在は、決定的に否定されてしまったのである。形としては、全く彼の意志に反した結末なのである。

とは言うものの、我々はここで、ドン・ホアンは悲劇的結末を迎えたのだと判断してよいのであろうか。「Ein Kind — (子供が)」と呟く彼の心には、果して、如何なる感情が過ぎたのであろうか。私は、ドン・ホアンがこの時点において、初めて真の幸福を見出したと思いたい。全ての理想に裏切られ、絶望した彼が、絶えず偶然

性の付きまとう現実の中に身を埋めてやっ獲得した幸福だ、と思うのである。幾何学の中に精神の安らぎを求めようとした彼が（つまり、それは現実からの逃避であるが）、最も恐れていた偶然性の導きによって結婚し、計らずもそこにおいて初めて、精神的安定感を伴った完全なる愛の姿を発見したのである。あまりにも知的な為徒らに現実に逆行し、迂回した人生を辿った青年の幸福が、まさにこの現実の中でしか実現され得ないものだったとは。

この場面においてまた、私はゲーテの「ファウスト」の最終場面を想起するのである。ファウストが、彼の恋の小世界に安住できない生の意欲の犠牲となった可憐なグレートヒェンに対する悔恨の痛みが激しくなればなるほど、それを通して清められていったように、ドン・ホアンもミランダの一寸な愛の力によって目覚めたのであろう。「永遠に女性的なるもの、我々を引き上げて昇らしむ」という全ファウストの結びの一句に象徴されているように、女性の愛の願いは、それ自体微力ではあっても、大きな導きの力となって、男性をより高い次元へ更生させてゆくのであろうか。

夕闇み迫まるロンダの狭谷を眼下に、テーブルをはさんで食事につくドン・ホアンとミランダの姿は、名状しがたい完全性をもって我々に迫ってくる——

Don Juan : Mahlzeit.

Miranda : Mahlzeit.

(M. Y)

„Don Juan ist ein Intellektueller, wenn auch von gutem Wuchs und ohne alles Brillenhafte. Was ihn unwiderstehlich macht für die Damen von Sevilla, ist durchaus seine Geistigkeit, sein Anspruch auf eine männliche Geistigkeit, die ein Affront ist, indem sie ganz andere Ziele kennt als die Frau und die Frau von vornherein als Episode einsetzt — mit dem bekannten Ergebnis freilich, daß die Episode schließlich sein ganzes Leben verschlingt.“

(Max Frisch)

Goethe-Institut München

Sprachkurse in Deutschland

ドイツ国内におけるドイツ語講座

東京ゲーテ・インスティトゥート 語学部
東京都渋谷区道玄坂2-10-7
新大宗ビル2号館
電話 462-0848

— 背 徳 の 城 —
La Cortesana



★キャスト

Lys Delacour	(主 人 公)	西 本 尚 美 (2)
Mauricio	(労 務 者)	雜 賀 克 行 (2)
Celeste	(若 い 女)	奥 村 比 佐 (2)
Augusta	(若 い 女)	高 橋 正 江 (1)
Rosa Pompón	(リスの旧友)	岡 本 由 利 子 (3)
María	(リスの姉妹)	月 形 由 紀 (3)
Alberto de Rec	(リスの愛人)	中 村 光 年 (1)
El Señor de Letil	(老 人)	多 田 暁 (2)
La Doncella	(女 中)	高 雄 清 美 (1)
		福 田 匠 子 (1)

★スタッフ

演 出	宍 戸 和 郎 (3)
プロデューサー	姉 小 路 公 宏 (3)
舞 台 監 督	国 領 昭 彦 (3)
マネージャー	伍 賀 春 日 (3)
照 明	山 口 京 子 (2)
	土 井 迫 潮 (1)
衣 装	山 内 一 世 (2)
	江 藤 千 景 (2)
大 道 具	村 西 啓 司 (3)
	小 田 正 則 (3)
音 響	小 伊 能 篤 子 (2)
	広 崎 信 二 郎 (1)
メ イ ク	高 橋 優 子 (3)
	角 田 尚 美 (3)
字 幕	岩 田 敏 子 (3)
	久 保 史 子 (3)
協 力	平 沢 浩 一 (4)
発 音 指 導	M. Díez 教 授

【あ ら す じ】

“Lys está muy contenta de parecer una reina y que todos la adulen”

En su hotel particular en París, la baronesa, Lys Delacour, tiene construido su reino. Ella se alegra de dominar a los que la rodean. Pero ella ya no es joven y, en cambio, su contrayente, Alberto, es mucho más joven que ella.

¿Me va a abandonar? ¿Aquella condenada muchacha, Augusta, me lo quitará?

El desasosiego, la inquietud y los celos confunden a Lys y desordenan su razón. En este momento decisivo, al sentir la crisis de perder el amor de Alberto, Lys, como un animal acosado, da un contraataque desesperado. En su cabeza se repiten las palabras de su amiga Rosa que se ha casado con un muchacho enfermo 30 años más joven: “Los años influyen poco. Es la salud lo que aleja a los hombres de nosotras. Cuando se sienten fuertes es muy difícil dominarlos.”

Y una noche ocurre una tragedia

パリの高級マンションに住む男爵の未亡人リスは、そこに自己の“王国”を築いていた。既に盛りをすぎたとはいえ、持ち前の魅力で周囲の人々を従え、その上に“君臨”する彼女はまさに“女王”であった。そのリスが近々結婚しようとしている。しかし、相手の男性、アルベルトは彼女よりずっと若く、またアウグスタという若い娘も彼の後を追っている。しかも、リスは、自分が面倒を見ているセレステという若い女性にアルベルトが心を引かれていることも感づいていた。焦燥と嫉妬はリスの理性をくもらせてしまった。

そんな折、彼女の旧友のローサが30才も年下の男性と結婚したと聞いてリスはあせる。彼女にはローサの言葉がいやにひっかかるのだった。「男性は健康の時には私たちに必要としないものだわ。病んでいる時ほど攻略しやすいものなのよ」。ローサの結婚相手も病人だった。

事態はついに舞踏会の夜、マンションの庭での惨事に発達する。アルベルトが何者かに酸を浴せられ、失明するかもしれないのだ。目撃者のリスは叫んだ。「犯人は女だったわ。私の幸せを妬んでのことにちがいないわ！」

しかし、事件は意外な方向に……。

上智大裏門からすぐ
本格的木彫のあるハ
イセンスな店！
千代田区麹町5丁目7番
TEL 265-8669

【作 者 紹 介】

CLAUDIO DE LA TORRE (1897)

Inteligente hombre de teatro y excelente director escénico-durante varios años director del Teatro Nacional María Guerrero-, Claudio de la Torre era ya conocido como dramaturgo antes de la guerra civil por una interesante y original pieza, "Tic-tac" (1930), de tendencia neo-expresionista, que lo situó entre los "nuevos" dramaturgos españoles que en los años 30 intentaron superar las viejas fórmulas del teatro burgués español|sustituyéndolas por una dramaturgia de aire marcadamente europeo.

Después de la guerra civil escribe y estrena dos dramas, "Hotel Términus" y "Tren de madrugada" (1946)-Premio Piquer de la Real Academia Española en los que, con técnica que guarda estrecha relación con sus experiencias de realizador cinematográfico, trata con gran decoro intelectual problemas relativos a la segunda guerra mundial.

Con otras dos comedias, "El río que nace en junio" (1951) y "La caña de pescar" (1958) "La Cortesana" (1952) forma parte de repertorio del "teatro público" español contemporáneo.

クラウディオ・デ・ラ・トーレは長年国立マリ
ア・ゲレーロ劇場の演出家として活躍したすぐれ
た演出家で、市民戦争以前からその代表作「ティ
ック・タック」(1930)の作者として、その名を知
られていた。この作品は新表現主義の色彩が濃く
彼はスペインの“斬新な”劇作家のひとりとされ
1930年代に他の劇作家たちと共に、従来のスペ
インのブルジョア的演劇形式を打ち破り、ヨーロッ
パ的な演劇に転換を図ったのである。

彼は市民戦争後、二つの戯曲を書き、上演して
いる。「テルミヌスホテル」と「暁の列車」(19
46)がそれで、彼はスペイン王立アカデミーからピ
ケール賞を送られた。ここで彼は映画監督として
の経験を巧みに生かして第二次世界大戦に関連し
た問題を知的タッチで描き出している。

他に二つの作品があり、「6月に生まれる河」
(1951)、「釣りざお」(1958)、そしてこの「背徳
の城」(1952)はバルセロナ市賞を受賞し、現代ス
페인大衆演劇の一角をなしている。

西 語 劇 プ ロ フ ィ ール

- '74 5月 西語劇サークル再結成。構成メンバー10人
- '75 4月 今の2年を強引に入れる。
- '75 5月 第1回公演。上智大学講堂にてひのき舞台を踏む。
充実していたが、非常に疲れた。
- '76 4月 第2回公演。上智大学講堂にて二度やったわりには
100パーセント消化できなかった。
同月、1年生をサークル得意の口車にのせ勧誘する。
そのわりに成果ナシ。
- '76 11月 校内語劇祭再参加。どうなることやら。
- '76 12月 校外大学西語劇祭再参加。
居並ぶ強敵を前にし、少しビビルがまずは練習。



コーヒー・ショップ

ヴァレンタイン

Tel. 230・2696

SLSは最も覚えやすいあなたの興味、目的、お仕事に合わせた
身近な会話(Situational Language)からスタートします!!

SLS英会話

優秀な米英人並びに日本人講師が懇切に指導いたします。
 ◇英会話本科◇英会話選科◇短期集中コース◇専門分野別英語コース
 ◇ビジネスコース◇英文秘書科◇通訳・国際ガイド科◇幼児・小学生早期英語科
 ◇留学試験科◇中・高生[英語・数学]補修受験科◇レディースモーニングコース
 (各科・コース共：定期及び随時少人数クラス/企業等委託生) 入学随時
 特定グループ/個人

SLS語学センター

(〒151) 渋谷区代々木2-5-1 羽田ビル6階
 新宿駅(南口)下車徒歩3分 ショクサンビル裏
 ☎ 東京 (03) 374-0056 (代)

出口なし

Huis Clos

J-P. サルトル 作
山本典生 演出



★スタッフ

舞台監督	松本邦夫
制作	大橋裕
大道具	谷口吉光
	二川敬子
小道具	程塚理恵
衣装	服部順子
	菅原正子
メイク	永井美奈子
	戸井ゆかり
照明	伝田恵子
	浅島順子
美術	羽生佳貴

★キャスト

エステル	松田道子
ガルサン	松本邦夫
イネス	河野とし子
ボーイ	山本典生

【あらすじ】

春、友人から勧められて、はじめてこの戯曲に触れた。大きな衝撃だった。共感・反駁を超えた感動が、私を捕えた。理解できぬ儘に繰り返して読んだ。どうしても上演したい、そう思った。だが、私は日本語劇をやめた人間である。翻訳劇では満足できない。そうして私たちは、このサルトルの戯曲、「出口なし」を原語のまま上演することになったのである。

無論、私たちは仏語劇が完全に理解されるとは考えていない。劇研の先輩にも、日本語でさえ分らないものを、フランス語で上演してどうなるのか、と言われた。だが私には、フランス語の原文と翻訳の間に見た、どうしようもない落差を見すごすことはできない。私たちは観客に戯曲と積極的に関わる姿勢を要求することになるだろう。私たちは上演前に脚本にあたった観客を期待することになる。やむを得ないことだ。日本語で上演するのはどこか他の劇団にまわそう。ともあれ、今、私たちは、フランス語で上演しようとしている。

人間は絶えず他者との関係に於て苦しみ、闘いながら生きていかなければならない。その意味で正しく《l'enfer, c'est les Autres (地獄とは他人のこと)》であった。極端ではあるが、然し私は、自分の生活、大学の中にあっても、それを感じない訳にはいかない。私は、常に他者との交際の中に於て生き、そこから逃れることはない。私は自分の行動に気を配り、見苦しくなく振舞いたいと願う。そして人々が、私を良く思ってくれることを欲する。だが屢々他人の自分に対する思考は苦痛となる。恋人が自分に向ける軽侮の念は、肉体的な苦痛以上に、もはや耐え難い苦痛

となるだろう。他者の視線・思考は大きな束縛である。だが、私も亦、意識するとしないとにかかわらず、他者を苦しめているだろう。私たちはお互いに苦しめ乍ら生きている。その時はじめて、ガルサンのあの台詞が、にわかには意味を帯びることになる。


私は、この戯曲ほど、こういう人間社会の状況を、見事に表現した作品を知らない。ここに登場する三人の人物は、それぞれが過去に暗い記憶を残しながら、死んで地獄の一室へ降りてきた今、地上での自分に関する屈辱的な思考も、或いはエステルにとっては、若い情夫も、自分の力ではどうすることもできない。唯一人、地上では「倫落の女」と呼ばれたイネスは、残して来たもの一切に執着を持たなかった。または執着を持つべきものを所有していなかった。彼女は他の二人の欺瞞を見破り、ある時は彼らを揶揄さえする。と同時に、彼女は同性のエステルに思いをかける。だがエステルは男との関係に放埒な女だ。彼女は同室の唯一人の男、たいした美男でもないガルサンの気を惹こうとする。一方ガルサンは、お互いに助け合って、地獄から脱け出すことを提案する。こうして三人の意志は統一されない儘、出口のない地獄の一室で、永久に苦しめ合い乍ら暮していかなければならないのである。

これは、私の実際の生活に即して訴えてくるものが大きかった。そして春から、この戯曲を上演するために起った数々の混乱の中にあって、私はサルトルの論拠の正確さを信じない訳にはいかなかった。今、私たちはその壮大な思想を前に立ち竦み、自分たちの非力さを恥じ乍ら、それでもこの戯曲とせいっぱい取り組んでいる。

(部長：松本)


お気軽にどうぞ

ご両親



送金依頼

あなた




入金通知

← ご送金依頼


→ 連絡

送金依頼



〇〇銀行

あなたの口座へ入金



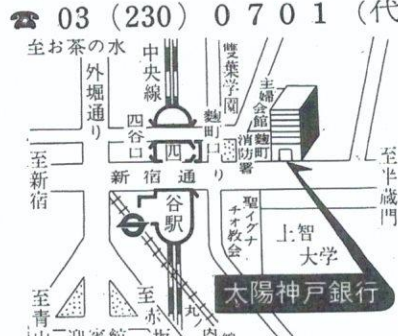
〇〇銀行 麹町支店

ひろげましょう ほほえみの輪を

太陽神戸銀行

麹町支店

☎ 03 (230) 0701 (代)



【解 説】

何かの行為をする際に、人はどう思うだろう、人はどう見るだろうという心配がよくつきまとうものである。それだけでなく、自分の姿・形・容貌・人格・性質についてでも、それを判断するのは、自分自身ではなく他人であると言っても言い過ぎではない。自分の顔はとても美しいと鼻を高くしてみたところで、人はどう思うかわかったものではない。自分が今しようとしている事は実に英雄的な行為だとか、敬虔で聖なる行為だ、とか主張してみたところで、人はどう考えるかわかったものではない。

厄介な事には、他人は私を見て見たままに私というものを把えるけれども、その把えた姿はそのまま私に知らされる事はない。それは、私にとっては他人が私についての秘密を握っている様なのである。他人とは全く恐ろしいものだ。その為、たとえ人が私を見ていないにしても、私は絶えず他人の視線を感じ、誰かが私を見ていやしないかと気づかってしまうのは事実である。他人の視線を気づかうあまり、私がある行為をしようとする自由が萎縮してしまう事さえある。

こういう私と他人との関係は、人間が何にも束縛されず自由である事がもとになっている。サルトルは神を否定するが、それは人間が神によってある意図のもとに造られたものではない。本来何ものでもないものであり、そしてその何ものでもない人間が何ものかである人間になっていく為、その状況に応じて自由な意志によって自らの道を選び、自分を作っていくかなければならないのであって、何らかの権威に盲従して惰性で生きてはいけない、と考えるからである。人間だけでなく、単なる物も本来何ものでもないものである。物は、私がそれを見て何らかの価値を与え、それによって何らかの物になるに過ぎない。他人が私を見る時も同様に、他人が私をどの様に見るかによって「私」が決まるのだ。私は、私というものを

他人の目の前に差し出すのだから私の存在の責任を負うものだけれども、その存在を根拠づけてくれるのは他人なのである。私は私の作品の責任者であるけれども、その作品の存在を根拠づけてくれるのは第三者のそれを見る人であるのと同様に。

「出口なし」はそうした他者との関係を象徴的に描いたものである。この舞台は地獄であり、逃げ出し様のない閉ざされた部屋である。その中で3人の亡者が偶然一緒になってにらみ合う — これ程せっぱつまったぎりぎりの状況は考えられない。ここには窓もなく鏡もない。鏡がないという事は、自分で自分の姿を見る事ができず、他人に見られている自分しか存在しないという事である。この部屋では誰もが他人の厳しい視線にさらされているので、自己欺瞞も通用せず、生前の世界の様な人間同志の愛情も友情も全く成り立たず、ただ互いに苦しめあって過ごすより仕方がない。仮にガルサンとエステルだけがこの部屋にいたのだらうだろう。或はイネスとエステルだけがふたりだけなら、お互いに厳しく見つめあわないうで妥協しながらも何とか折合よくやっていけるかも知れないが、常にもうひとりが邪魔なのである。そして彼らにはまばたきもなく、一瞬の暗闇もなく、永遠に視線を遮られる事のない中で互いに苦しめあい続けなければならないのだ。この場面の設定は元々地獄だが、又この意味において真に地獄だと言えるのである。3人はこの劇の最後の部分でその事を本当に悟り、絶望する。しかし彼らにはこの絶望から抜け出る方法はない。ただ、それを続けるより他はないのである。

このサルトルの思想における他者との相剋は、政治思想へと発展していく。そして、哲学者・文学者・劇作家であるサルトルは、独自の政治思想に基いて、挫折を繰り返しながらも盛んに政治活動を行ない、実践的な思想家として活躍してきたのである。

(演出：山本)

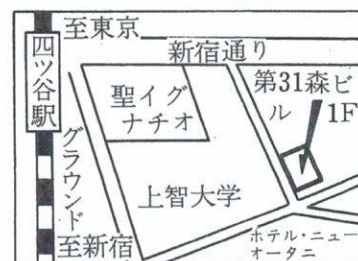
健康保険医療機関

太田 歯科

〔診療時間〕 午前10～1時 午後2～6時

(土曜日 午前10～1時)

〔休診日〕 日曜日・祭日・第1, 第3土曜日



太田 克巳

〒102 千代田区麴町5-7-2

第31森ビル内

TEL 03(262) 8069

ТАНЯ

— ターニャ —

ДРАМА В ДВУХ ЧАСТЯХ,
ВОСЬМИ КАРТИНАХ

<キャスト>

ターニャ	山 脇 晴 子
ゲールマン	麻 田 恭 一
シャマーノワ	宮 本 仁 子
イグナートフ	小 熊 潤 一
ドワーシャ	藤 川 尚 子
ミヘーイ	小 町 千 治
老婆	築 紫 潤
グリーンシェンコ	西 川 一 郎
医者	大久保 義 人
オーリャ	大 塚 彰 子
越冬小屋の女主人	小 島 はるか
ワーシン	山 川 泰

<スタッフ>

制 作	西 川 一 郎		
演 出	矢 嶋 和 子		
舞 監	辻 龍 雄		
音 効	大久保 義 人		
照 明	山 村 嘉 宏	大 塚 彰 子	小 町 千 治
衣 装	小 島 はるか	藤 川 尚 子	
大 道 具	佐 藤 秀 雄	山 川 泰	
小 道 具	岡 上 理 穂	高 瀬 まこと	
メ イ ク	岡 本 祥 子	山 脇 晴 子	
字 幕	安 岡 治 子	猪 上 恵	
語 監	成 瀬 正 美	田 辺 芳 男	

<解 説>

戯曲<ターニャ>は1938年、アレクセイ・ニコラーエヴィチ・アルブーゾフが30才の時に発表した作品です。これは、翌1939年にモスクワの革命劇場（現在のマヤコーフスキイ劇場）での初演が好評を博して以来、ソビエト国内のほとんどあらゆる劇場のレパートリーに加えられ、自立劇場でもしばしば演じられてきました。さらに1946年の改訂版テキストによって、戦後もひき

つづき上演されている<ターニャ>は、ソビエト劇文学の代表的な作品であり、この国でもっとも上演回数の多い戯曲の一つになっています。

愛をたしかめることによって自我に目覚め、社会人として成長してゆくターニャという女性の生き方は、国境をこえ、時代をこえて我々の共感を呼びおこすのです。

〔作者紹介〕



Алексей Николаевич Арбузов

Алексей Николаевич Арбузов, один из самых известных современных советских драматургов, родился 28 мая 1908 г. в городе Москве. С юных лет он увлекался театром: ему было только 15 лет, когда он выступал статистом в Мариинском оперном театре. В 1930 году, после многолетней работы в театре, Арбузов написал свою первую пьесу «Класс». Широкою же известность принесла ему пьеса «Ганя», премьера которой прошла в Московском театре Революции. С тех пор его произведения «Город на заре», «Годы странствий», «Иркутская история» и др. — с успехом идут во многих театрах.

Пьесы Арбузова пользуются большой популярностью среди советской молодежи. Это объясняется тем, что в центре внимания драматурга всегда находятся молодые люди, а так же тем, что, изображая их переход из детского мира в жизнь взрослых с ее жестокостями, писатель утверждает, что есть возможность чистых бескорыстных человеческих отношений, когорых будто бы становится все меньше по мере развития современной науки и техники, и призывает к утверждению человеческого достоинства и возвышенных идеалов.

アレクセイ・ニコラエヴィチ・アルブゾフは、ソ連邦で最も著名な劇作家の1人である。彼は、1908年5月28日、モスクワに生まれた。幼い頃から演劇に熱中し、15才の時には、マリンスキー・オペラ劇場で、エキストラとして舞台に立った。

幾多の演劇活動の後、1930年に彼の処女作『階級』を発表した。そして、1938年、モスクワ革命記念劇場で初演された『ターニャ』によって、劇作家アルブゾフは、大いにその名声を博することとなった。その後、彼の戯曲 — 『暁の町』、『遍歴の年月』、『イルクーツク物語』 — は、ソ連国内に大きな反響を持って迎えられた。

現在、彼の戯曲はソ連国内の青年男女の注目を集めている。それはアルブゾフの作品が常に若者を対象としているからであり、また、それらの作品の中で、青年達が空想の世界から、冷酷な現実社会へと歩んで行く過程を通して、現代の科学技術の進歩によって失われて行く、純粹で美しい、人間関係の所在を確かめ、人間の価値と理想を訴えているからである。

各国コーヒーの店

キャニオン

営業時間 AM 8:30 ~ PM 9:00

新道通り第一勧銀地下

TEL (357) 8086

祝 語 劇 祭

香月堂

【あらすじ】

結婚一年に満たない若妻ターニャは、夫ゲールマンを限りなく愛し、二人だけの世界を守るために医科大学を中退して自分の全生活を夫に捧げました。彼女は夫への心からなる、大きな愛情につきりこみ、大学時代の親しい友人たちとさえ会うことを拒絶します。しかし夫はそういう妻に飽きたらず、仕事で交渉をもつようになった魅力的な女性シャマーノワに心惹かれるようになります。

メーデーの日、ゲールマンの浚渫機の実験成功を祝う祝宴の場で、ターニャは夫のシャマーノワに対する愛を知り、彼のもとを去ります。しかしすでにその時ターニャはゲールマンの子供を身ごもっていました。

ゲールマンから身をかくしてターニャは赤ん坊を産み、その子への愛に自分の生甲斐を見い出そうとするのですが、その子も彼女の過失で死んでしまいます。すべてを失ったターニャはふたたび大学にもどり、医者として生きる道を選ぶことで絶望から立ちなおろうとします。

それから2年の月日が流れ、遠いシベリアの地で彼女は若い医師として人々の信頼を勝ち取り、自分が彼らの役にたっていると感じ、仕事に幸せを見い出します。

ある夜彼女は重態の赤ん坊を救うために、身の危険もかえりみず、吹雪の中を出かけてゆきます。しかしそこで彼女が救った赤ん坊は、ゲールマンとシャマーノワの息子、かつての彼女の子と同じ名前のユーリクだったのです。この時のゲールマンとの再会によって彼女はそれまで自分の心の奥底に抱きつづけていた愛に終止符がうたれたことを知ります。それはターニャにとって、青春の終わりでもあり、そしてまた、自分の人生の新しい門出でもありました。

【演出雑感】

大学に入り、ロシア語劇にかかわりあってから三年目で、演出というものにされてしまいました。演劇というものに初めて触れたのがロシア語劇であり、素人グループでの三年間ではもとより演劇とはなどと語れません。劇や演出ということに関する知識に乏しい私にとって、このグループにおける役割は単なる公演までのまとめ役にすぎないと思いますが、それさえも私にとっては重責でした。男の人のような指導力・統率力にかける私にとり、唯一の助けは仲間の援助でした。

このような状態であるため、今回の公演にしても、いかに自分の主張をこの劇に盛りこむかということより、いかに公演までに一通りのものに仕上げられるかという程度のものに終わってしまったかもしれません。

私達が外国の劇を原語で行なうのは、演劇にしろ、詩にしろ、その国の言葉で演じ、読むのが一番その作品を理解できるといった理想があるからだと思います。一つ一つの言葉には、その国の文化的・歴史的、その他のいろいろな背景を従えた独特な雰囲気があります。その雰囲気は日本語に翻訳されたものより原語で読まれた方がよりよく理解できるのではないのでしょうか。

しかしこういう理想がある反面、私達の前には常に言葉の壁がたちふさがっているのも事実です。例年のことですが、今年も又、語学練習の方に時間を多くとられてしまいました。さらに脚本選定の段階からして、まず第一に考えたのは語学的に難しくなく、そして見にくるのがほとんど日本人観客ということで、その点で脚本が制限されてしまいました。このような問題はロシア語劇サークルの今後の大きな問題でしょう。

最後になりましたが、発音その他いろいろ助言して下さいましたガリーナ・パブレンコ先生をはじめとする学科の諸先生方、かつてロシア語劇にかかわった先輩方の援助に心からお礼を申し上げます。

観劇された皆様の忌憚ない批評を期待します。
(演出：矢嶋)

祝 語 劇 祭

運輸大臣登録一般旅行業第345号 JATA 会員

トラベル世界株式会社

〒105 東京都港区芝西久保桜川町8番地
☎ (03) 591-6201

ロシアの冬芸術祭へ

ボリショイ劇場、モスクワ芸術座
チャイコフスキー・コンサートホール……

最高の芸術を本場の劇場で

すばらしい冬のロシアで

Aコース	12/30~1/7	9日間
Bコース	12/29~1/7	10日間
Cコース	12/30~1/5	7日間
Dコース	12/29~1/7	10日間
Eコース	12/24~1/7	15日間

各劇沿革

◆ドイツ語劇

' 60	辛抱強く、従順なグリザルク辺境伯爵夫人	
' 61	こわれがめ	クライスト
' 62	イエーダーマン	ホーフマンスタール
' 63	青い麦わら帽子	ミヒャエール
' 64	シェークスピアの死	ロスマン
' 65	女嫌い	レッシング
' 66	初稿ファウスト	ゲーテ
' 67	黒い蜘蛛	ゴットヘルフ
' 68	血縁	トーマ
' 69	ジークフリートの死	
' 70	物理学者	デュレンマット
' 71	ロムルス大帝	デュレンマット
' 73	モンテピデオの家	ゲッツ
' 74	セチュアンの善人	ブレヒト
' 75	洪水	グラス

◆スペイン語劇

' 60	小犬	アルニチェス
' 61	せんべい売り	
' 62	善意の人	アルニチェス
' 63	作り上げた利害	ベナベンテ
' 64	姿なき愛	フェンテ
' 65	エル・キントピノ	トノ
' 66	あなたも殺人者になれる	バリ
' 67	六頭立ての馬車	イリアルテ
' 68	前夜	イリアルテ
' 70	洪水	マウラ
' 72	砂に描いた言葉	バジェホ
' 73	暗闇の中の愛	キンテーロ
' 75	雲が形を変えるとき	クリアード
' 76 (春)	ママの私生活	イリアルテ

◆フランス語劇

' 60	町人貴族	モリエール
' 61	イタリアの麦わら帽子	ラビッシュ
' 62	ジョルジュダンダン	モリエール
' 63	気で病む男	モリエール
' 64	いやいやながら医者にされ	モリエール
' 65	スカパンの悪だくみ	モリエール
' 66	守銭奴	モリエール
' 67	女学者	モリエール
' 68	泥棒たちの舞踊会	ジャン・アヌイ
' 69	ムッパユード・プールソニヤック	モリエール
' 70	將軍たちのおやつ	ボリスヴィアン
' 71	フィガロの結婚	ボーマルシュ
' 72	イタリアの麦わら帽子	ラビッシュ
' 73	野性の女	ジャン・アヌイ
' 74	恋は医者	モリエール
' 75	エスキュリアル	ゲルドロード

◆ロシア語劇

' 60	どん底	ゴーリキ
' 61	検察官	ゴーゴリ
' 62	ワーニャ伯父さん	チェーホフ
' 63	ごきげんよう	ローゾフ
' 64	初恋	ローゾフ
' 65	プラトン・クレチェット	コルネイチューク
' 66	結婚申し込み	チェーホフ
' 67	イルクーツク物語	アルブゾフ
' 68	私のかわいそうなマラート	アルブゾフ
' 70	ワーニャ伯父さん	チェーホフ
' 72	見世物小屋	ブローク
' 73	三人姉妹	チェーホフ
' 74	ヴェロニーカ	ローゾフ
' 75	かもめ	チェーホフ

最も使い易くて・高水準の新型・独和辞典!!

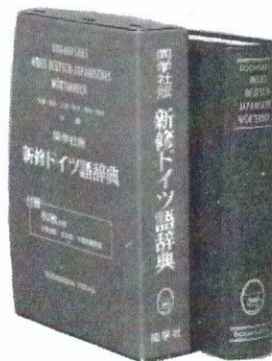
矢儀・西田・土屋・根本・有村・恒吉 共編

新修ドイツ語辞典

新書判 1,320頁・箱入・定価2,400円

特
色

- ①現代語を中心に見出し語五万・例句例文豊富
- ②発音はカナ表記と発音記号の二本建学習辞典
- ③付録に和独の部・日常会話・文法表など総合辞典
- ④英語からドイツ語に入る諸君に絶好学習辞典



内容見本 送呈

株式会社 同 学 社

東京都文京区本駒込 1-11-19 振替東京166920

編集後記

他の原稿はすべてOK! 広告も取り終わっている。ところが実は、この編集後記を忘れていてあわてているのです。でももうすぐ書き終わります。そうすれば印刷屋さんへ渡して、二週間後には活字となったものが戻ってくる仕組みです。

劇は舞台の上だけではないことがよくわかりました。なぜか請求書の書き方まで学べます。又、当日あなたが入場される時には、大道具、小道具は各々の仕事を完了しており、照明と音効は位置

についたまま、頭の中で操作の手順をくり返しているところなのです。

「演劇は総合芸術である」などと大上段に構えるのは性に合いません。芸術から縁遠い顔だ、などという悪口雑言は受け流しましょう。しかし劇が総合であるということは信じています。役者、裏方から受付の者まで、それにあなたを加えた……

(小 谷)

第17回語劇祭実行委員会

委員長 谷 口 吉 光
副委員長 小 谷 暢
西 川 一 郎
姉小路 公 宏

パンフレット編集

小 谷 暢
奥 村 比 佐
西 川 一 郎
大 橋 裕

表紙デザイン

山 根 敏 郎

ドイツのフォークロア

文学の背景としてのわらべうたからアングラまで

編著者/D. シュトゥッケンシュミット
塚部啓道・水谷泰弘・小栗友一・柴田庄一 訳

A 5判・264頁 定価 2,500円

ドイツ文化の土壌を形成し、ドイツ人の心の糧となっている「文学の背景」と、「文学の背景」にあって晴れの文学の舞台に出られないもの——ドイツ人なら誰でも知っている; ドイツ文学を読む前に是非知っておきたい領域をとりあげ、興味深く解き明かしたものである。

ウィーン・オペレッタの楽しみ

—レハール、カールマーン作品選—

西澤龍生・渡辺忠雄 編注

B 6判・208頁 定価 1,800円

たのしいドイツ語

田中道夫・藤田 賢・藤代幸一 著

B 6判・200頁 定価 1,300円

本店 113 東京都文京区本郷3-42-6・振替口座東京2-149・電話(03)811-7234(代表)
支店 604 京都市中京区寺町通御池南・振替口座京都5050・電話(075)221-7841(代表)

南 江 堂

ドイツ生れのオーケストラ。



オーケストラが実にさまざまなインストルメントで構成され、日本のために美しいハーモニーを奏でています。ヘキスト

17th

Sophia

Drama Festival

Sponsored by Sophia Drama Festival Committee
At Auditorium of Sophia

Fri. 5:30 ~

Sat. 3:00 ~

Sun. 1:30 ~

Nov. 19, 20, 21. 26, 27. Dec. 3, 4, 5. 10, 11.

¥ 400

発音表記が全ての見出しについた
博友社ロシア語辞典

彰一他編 一八×二・三cm版 一五〇四頁 ¥三三〇
主にして全てに発音を付し 変化形をも
例句例文の豊富さも初学者に使い易い

又例がもつとも豊富な中独和
柯独和辞典 新訂
一〇cm版 一八四頁 ¥三〇〇 へ上 ¥三三〇 へ革

豊富な文例は定評がある 名詞変化 地方
の相違も的確にし 語源解説は抜群である
ゆる分野の二〇万語を収めた

大独和辞典
A5版 一八六頁 ¥六五〇 へ上 ¥八〇〇 へ革

いと文例を収め 発音は標準日常を併記
文法解説等ドイツ語の全てを集約した
わが国唯一の大和独辞典

和独大辞典
刊謹治編 A5版 二六〇頁 ¥八五〇 へ背革

七万三千 用例四一万 文例五万八千と
る分野を本格的ドイツ語に的訳する
初学者にもつとも使いやすい

ケツト仏和辞典
上貞五郎編 一五×七・八cm版 六四九頁 ¥二〇〇

語 商業用語を中心に四万七千語を収め
辞典 訳文 用例も平易で実用的である



1976年 第17回 上智大学語劇祭

発行日	昭和51年9月1日
発行	上智大学語劇祭実行委員会
編集責任者	小谷 暢
印刷所	三鈴印刷株式会社 電話(03)941-1181(代)